

RJJ19B0579-0100

ルネサスシングルチップ8ビットマイクロコンピュータ  
M38227M8A-XXXFP/HP  
マスク化確認書

マスクROM番号		
受付欄	年月日	
	課長印	担当者印

(注) 印をすべて記入ください。

貴社 記入欄	貴社名	殿	TEL ( )	発行印	責任者印	担当者印
	発行日	年	月		日	

1. ご確認表

発注される品種名および提出いただくEPROM、またはフロッピーディスクを指定してください。

EPROMで発注される場合は1パターン当たりEPROMが3セット必要です。フロッピーディスクで発注される場合1パターン当たりフロッピーディスクが1枚必要になります。

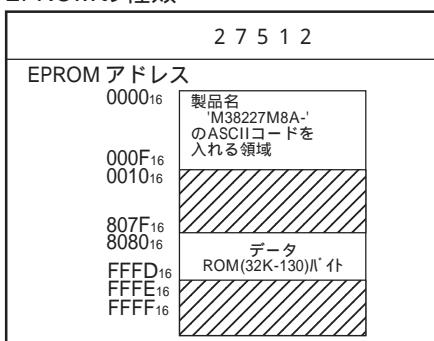
EPROMの場合

当社では提出いただいた3セットのEPROMの内、少なくとも2セットの内容が同一であれば、この内容のデータによってマスク作成を行います。したがって、このデータと生産される製品に焼きつけられるROMデータが異なる場合のみ当社はその責を負います。提出いただくEPROMデータの内容については十分に確認をお願いします。

マイクロコンピュータ形名 M38227M8A-XXXFP M38227M8A-XXXHP

EPROMの全領域のチェックサムコード    (16進表示)

EPROMの種類



(ご注意) フロッピーディスクで提出される場合は左記の  
製品形名領域にはデータを入れないで下さい。

マイクロコンピュータのアドレス空間上、内部ROM領域として8080<sub>16</sub> ~ FFFD<sub>16</sub>番地以外は  
使用することができません。なお、本製品のリセットベクトルはFFFC<sub>16</sub>、FFFD<sub>16</sub>番地(38000シリーズ共通)  
に格納します。

- (1) ROM斜線部分には " FF<sub>16</sub> " を入れて下さい。
- (2) ROMの0000<sub>16</sub> ~ 000F<sub>16</sub>番地は製品形名のデータ  
格納領域です。

'M38227M8A-' のASCIIコードを右記に示しますの  
で、ROMの0000<sub>16</sub> ~ 000F<sub>16</sub>番地には必ず右記の  
データを書き込んでください。  
番地、データとも16進表記です。

EPROM アドレス	EPROM アドレス
0000 <sub>16</sub>	'M' = 4D <sub>16</sub>
0001 <sub>16</sub>	'3' = 33 <sub>16</sub>
0002 <sub>16</sub>	'8' = 38 <sub>16</sub>
0003 <sub>16</sub>	'2' = 32 <sub>16</sub>
0004 <sub>16</sub>	'2' = 32 <sub>16</sub>
0005 <sub>16</sub>	'7' = 37 <sub>16</sub>
0006 <sub>16</sub>	'M' = 4D <sub>16</sub>
0007 <sub>16</sub>	'8' = 38 <sub>16</sub>
0008 <sub>16</sub>	'A' = 41 <sub>16</sub>
0009 <sub>16</sub>	'-' = 2D <sub>16</sub>
000A <sub>16</sub>	FF <sub>16</sub>
000B <sub>16</sub>	FF <sub>16</sub>
000C <sub>16</sub>	FF <sub>16</sub>
000D <sub>16</sub>	FF <sub>16</sub>
000E <sub>16</sub>	FF <sub>16</sub>
000F <sub>16</sub>	FF <sub>16</sub>

RJJ19B0579-0100

マスクROM番号

ルネサスシングルチップ8ビットマイクロコンピュータ  
M38227M8A-XXXFP/HP  
マスク化確認書

アセンブラソースプログラムの先頭に、書き込むEPROM種類別に下表に示す疑似命令を記述することにより、EPROMの $0000_{16}$ ～ $0009_{16}$ 番地に形名のASCIIコードが書き込むことができますのでご利用ください。

E P R O Mの種類	27512
ソースプログラムへの記述	* = \$ 0000 .BYTE 'M38227M8A-'

(注) EPROMに書き込まれた形名とマスク化確認書の形名が一致しない場合、ROM処理ができませんので正確に形名記入をお願いします。

フロッピーディスクの場合

当社では提出いただいたフロッピーディスクのファイルの内、マスクファイル生成ユーティリティーで生成されたマスクファイルを処理してマスク化を行います。したがって、このマスクファイルと生成される製品に焼きつけられるROMデータが異なる場合のみ当社はその責を負います。提出いただくマスクファイルの内容については十分に確認をお願いします。

フロッピーディスクは3.5"2HD/IBMformatで用意してください。また、フロッピーディスクに納めるマスクファイルは一つだけにしてください。

ファイルコード

--	--	--	--	--	--	--	--

(16進表示)

マスクファイル名

--	--	--	--	--	--	--	--

.MSK (英数字8桁)

(ご注意) フロッピーディスクで提出される場合は、製品形名を入れないで下さい。

下記のROMデータ領域以外には、データを入れないでください。

ROMデータ領域…00808016番地～00FFFD16番地

2. マーク指定

マーク指定はパッケージの形状により異なります。別紙のマーク指定書(パッケージ別)にご記入の上、本マスク化確認書に添付してご提出ください。

M38227M8A-XXXFPの場合は80P6Nの、M38227M8A-XXXHPの場合は80P6Qのマーク指定書をご提出ください。

RJJ19B0579-0100

マスクROM番号

ルネサスシングルチップ8ビットマイクロコンピュータ  
M38227M8A-XXXFP/HP  
マスク化確認書

3. ご使用条件について

当社製品検査の参考にさせていただきますので、ご発注される製品の使用条件についてご質問いたします。

(1)  $X_{IN}$ - $X_{OUT}$ 発振回路は次のどの条件でご使用されますか。

セラミック共振子                   水晶発振子  
外部クロック入力                   その他 ( )

また、その周波数は何MHzですか

$f(X_{IN}) = \boxed{\hspace{1cm}}$  MHz

(2) P7<sub>1</sub>/ $X_{CIN}$ 、P7<sub>0</sub>/ $X_{COUT}$ 端子は次のどの条件でご使用されますか。

P7<sub>0</sub>、P7<sub>1</sub>ポート機能                    $X_{CIN}$ - $X_{COUT}$ 機能を選択(共振子外付け)

4. 特記事項